

新型コロナウイルス感染症による スポーツクライミング選手への影響調査 報告書

1. 実施期間 2020年5月20日から2020年5月31日まで
2. 対象者数 2020年度選手登録者（ただし、高体連所属を除く）1096名
3. 回答者数 383名
4. 集計日 2020年6月1日



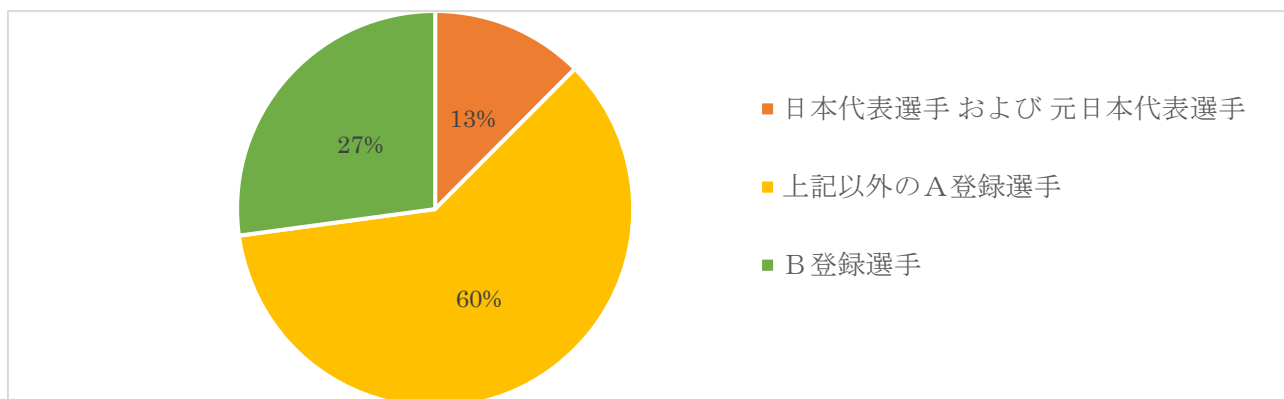
公益社団法人

日本山岳・スポーツクライミング協会

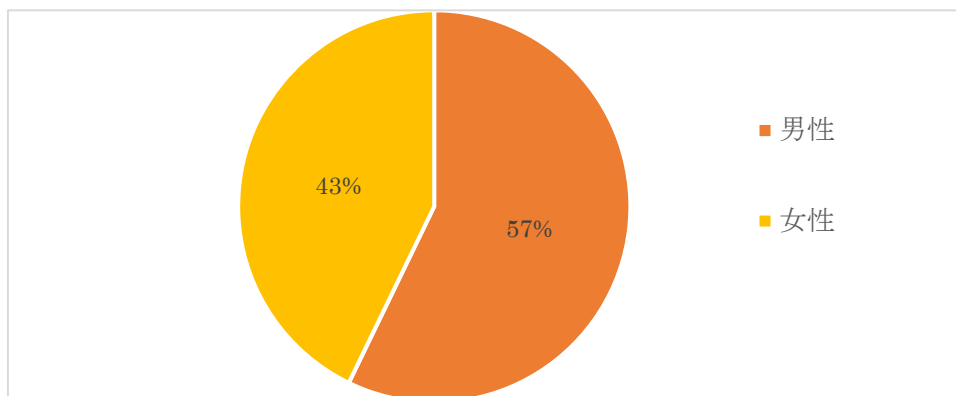
Japan Mountaineering & Sport Climbing Association

1. 回答した選手の属性

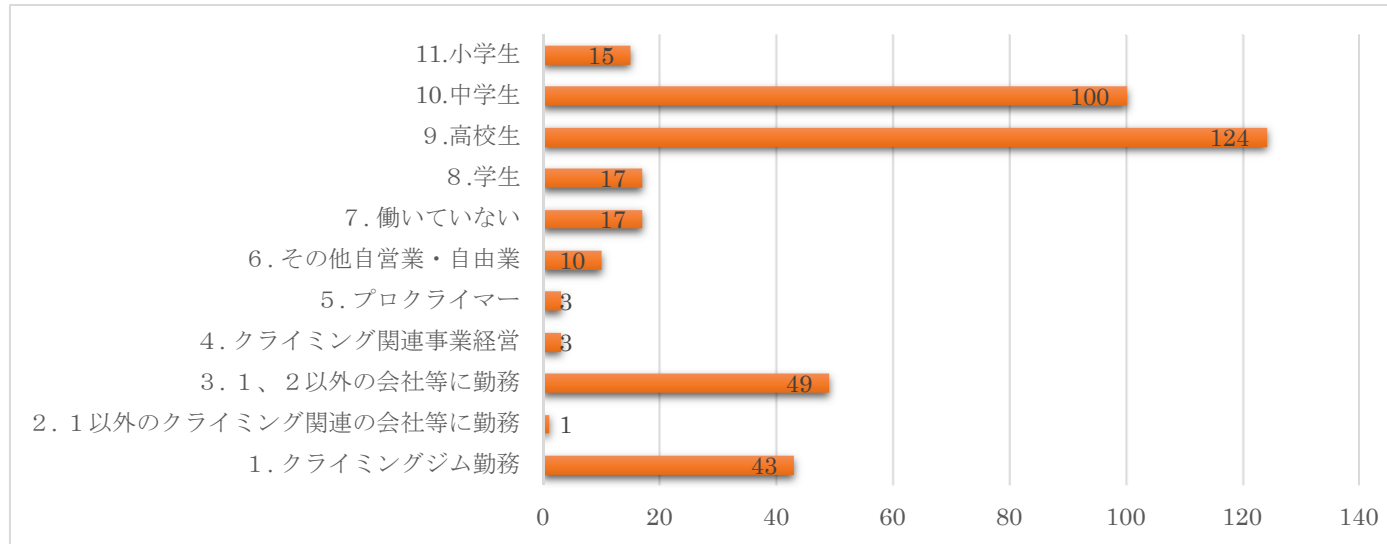
【選手の種類の種類】



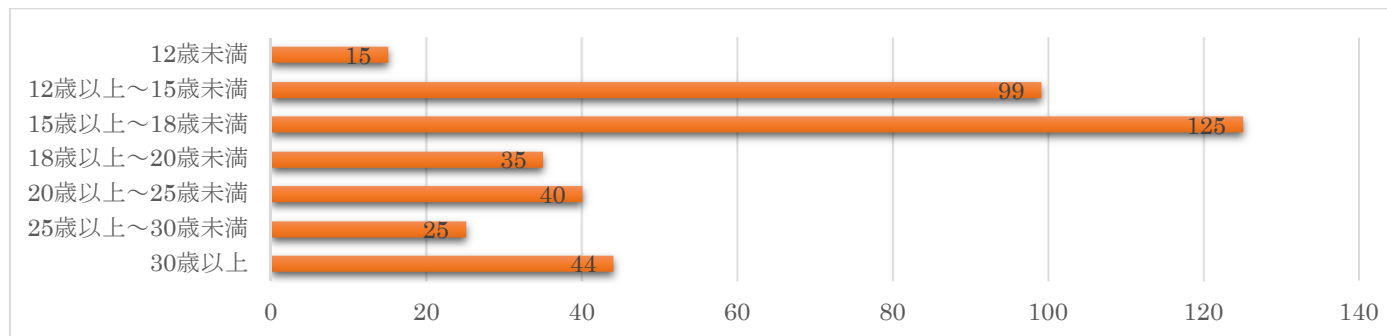
【性別】



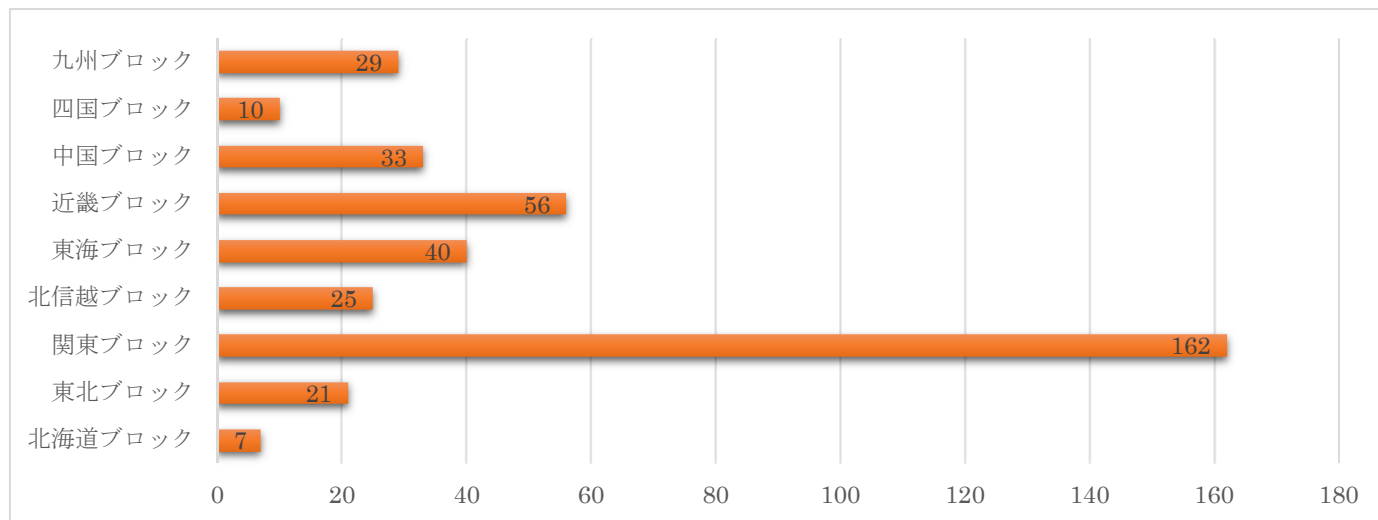
【職業】



【年齢】

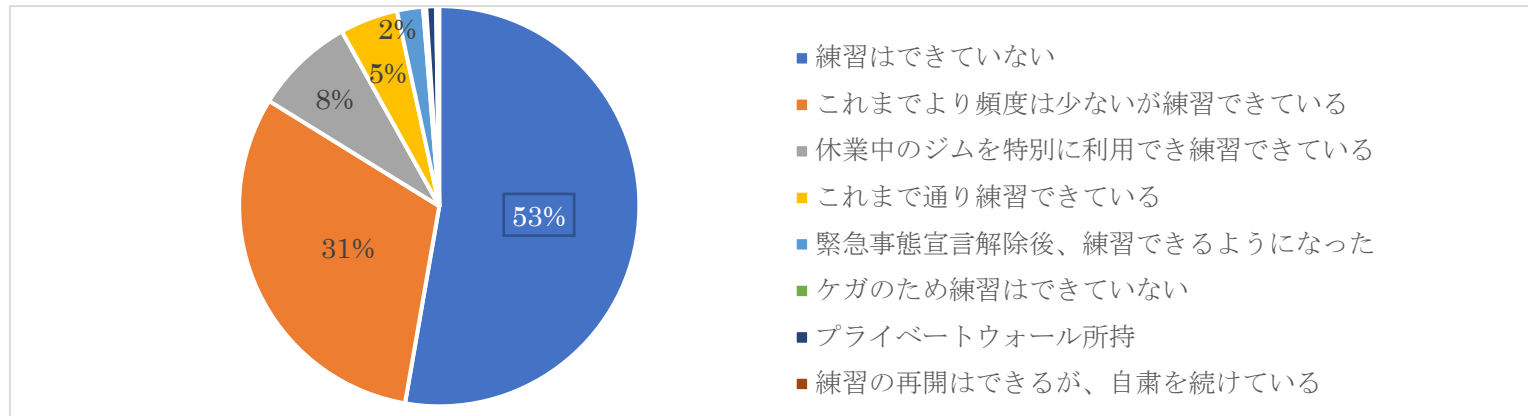


【現住所のあるブロック】

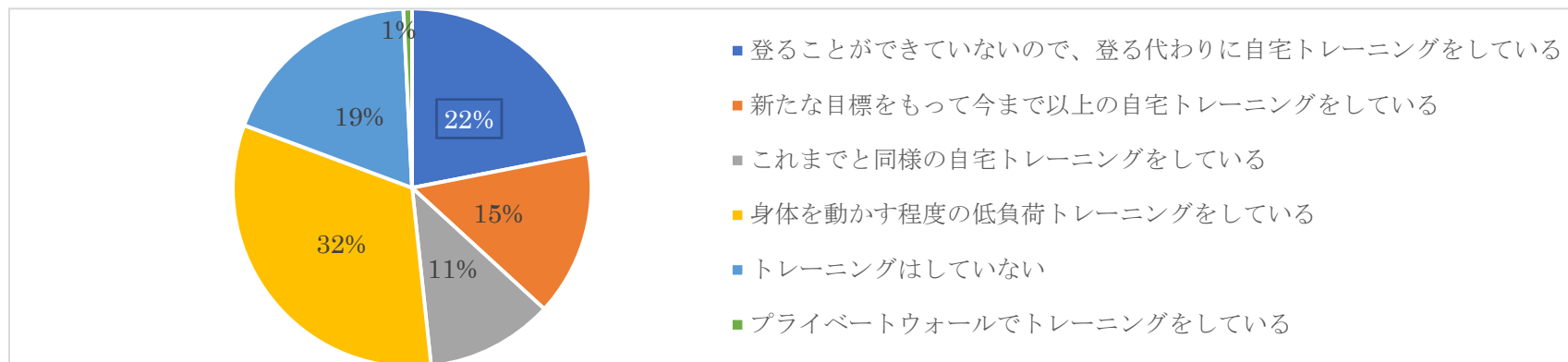


2. トレーニングの状況について

【クライミングジム等での練習ができているかどうか】

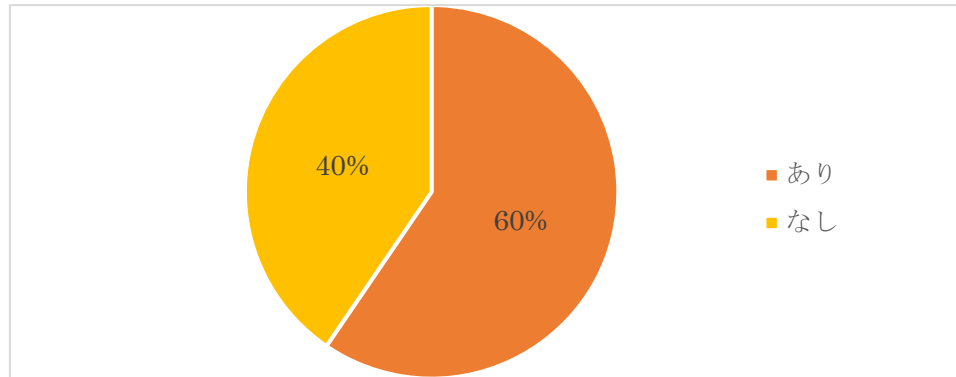


【自宅でのトレーニングの状況について】



3. 新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛や経済活動自粛の要請による影響について

【心や身体に何か変化はあったか】

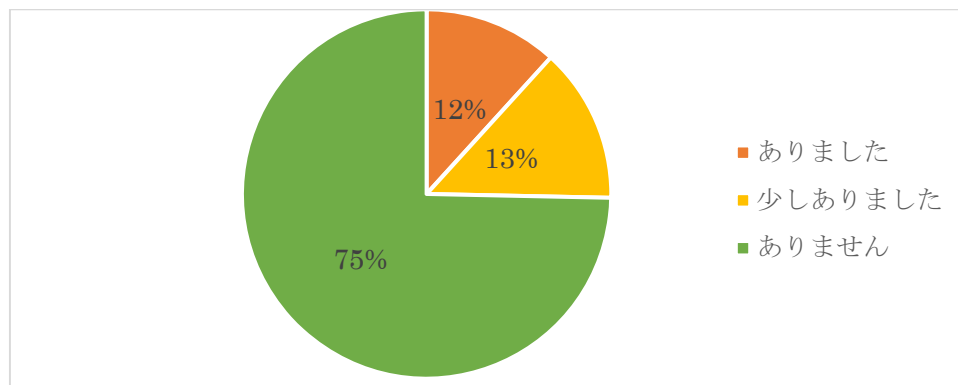


「具体的な変化についての自由記述」

- 筋力や体力が落ちた
- クライミングが出来なくてストレスを感じている
- クライミングに対するモチベーションが低下した
- クライミング能力が落ちることが心配
- クライミング能力や体力が落ちる不安がある
- クライミングへのモチベーションを保つのが難しい
- クライミングをすることで新型コロナウイルスに感染するのではないかと不安
- クライミングをやる気がなくなった
- クライミングを辞めた

- ゲームをやる時間が増えた
- 周囲の目や反応が、普段以上に気になるようになった
- 外出やクライミングに行くことに抵抗を感じるようになった
- しんどい
- すこしだらけている
- ずっと家にいることによるストレスがある。クライミングが出来なくて不安。
- ストレスが溜まった
- 大会開催の可否により気持ちに波があった
- 大会がなくなり目標がなく、モチベーションが低下した
- 大会がなくなり目標を喪失した
- お酒を飲む量が増えた
- クライミングをしたいという欲求が高まっている
- クライミングに費やす時間が見直すことができた。クライミングは好きだが、今の暮らし方も悪くないと感じる。

【経済的に困ることはあったか】



「具体的に困ったことについての自由記述回答」

- スポンサーがなくなった
- 収入が無くなった
- 収入が減った
- 保護者の失業
- 保護者の収入が減った
- 家族全体の収入減少
- 会社を離職した
- 残業ができなくなり、収入が減った
- 勤務日数などが減ることで収入が減りました
- ルートセット、クライミングスクールの仕事がキャンセルとなった
- クライミングジムが営業自粛したため収入が減った。
- クライミングジムが休業になりアルバイトができなくなった
- クライミングジムでのバイトがなくなりました
- クライミングジムを解雇された
- クライミングジムの月パスが使えなくなり、都度都度使用料を支払わなくてはいけなくなった。
- クライミングジム営業が出来ないので収入がなくなった。
- クライミングジム休業により収入減
- アルバイトが全てなくなった
- アルバイトで、ジム費用等を賄う予定でしたが、自粛で収入0です。
- アルバイトの時間数が減った
- アルバイト先が休業しました。

- アルバイト先が閉まったり、シフトが激減して収入が減った
- 遠征費に回す費用の減少
- 遠方のジムに行ったり、初めてのジムに行くことが増えて遠征費が嵩む
- 収入が減っているのに、これまでみたいな県外への練習などは減る
- 今のところは大丈夫だが、これから長引くと稼ぎがなくなって少しずつ生活が苦しくなるかもしれない。
- 自宅にトレーニンググッズを買ったり、毎日家にいる事での食費等の出費が増えた
- シューズ、ロープが手に入りづらくなった
- 学費、これからの生活費など大学卒業後の人生設計で最低限必要な費用の不足がある
- コロナ対策などのオンライン授業などの出費
- 金銭面での苦労がある

4. 今後クライミングをしていく上で心配なことや不安なことまたはやってみたいことなど（自由記述）

a) クライミング界全体のこと

- クライマー人口が減ってしまいそう。
- クライミング界を盛り上げていきたい。
- クライミングジムや選手が、今ある環境の中、努力して頑張っていることをもっとみんなに知って欲しい。
- クライミングから離れる選手がこの後出てきそうで、選手の育成が心配です。
- クライミングジムの閉店が心配。
- クライミングジム運営はできるのか。
- クライミングジムが通常営業に戻れるのか不安。
- 色んなジムが閉店してしまわないか不安です。
- 全国のジムが、危機的状況だと言う事を聞いています。私でも何か役に立てる事があれば、何でもやりたいと思っています。

- 全国的にジムが経営難となり閉店が増える(既に閉店している)ことが心配である。
- 第2波、3波が来たらジムがもたないと思います。トレーニングできるジムがなくなる。
- 入場制限やマナーを守ればクライミングに自粛は必要ない。
- 人を集めることが出来ない現状をふまえるとクライミング人口減少によるクライミング経済の損失でクライミングにかかる経済的負担が増加することに懸念が残る。
- 他県との合同練習や合宿があれば参加したいと思う。沢山のクライマーとの交流ができたら嬉しいです。
- 団体での練習会や各種大会、講習会などは今後どう開催されるようになるのか気がかりです。また、クライミングジムなどの施設の減少を危惧しております。

b) クライミングジムの利用のこと

- クライミングジムは三密の状態なので自粛しているが、解除となっても行きにくい雰囲気がある。
- クライミングジムにおいてクラスター発生の懸念と対策。
- クライミングジムの衛生管理が心配。
- クライミングジムの県外からの来店禁止がいつまで続くか心配。
- クライミングジム閉鎖による連絡不足が心配。
- ホームジムが継続して経営していけるか心配です。
- 狭いクライミングジムに人がいっぱいいると怖いと思うけど、早く登りたい。
- 再開後のクライミングジムは人数制限、予約制、短時間交代制が取り入れられる流れのようだ。選手としての練習環境確保ができるのか不安を感じている。
- 仕事場であり練習環境であるクライミングジムが軒並み経営が厳しい状況で倒れてしまわないか不安。
- 自粛解除してからのジムでの練習などが人数制限や時間制限により今までのように登れないのかと思うと不安です。
- 自宅で練習できる人できない人の差が必ず出てくるはず。非公式で練習できるジム環境がある選手もいるはず。その差が生まれるのがモチベーションにもつながるのではないかと思います。

- 自宅に壁を作りたい。
- 自宅壁制作。
- 自分が登れてないとき他の人は登れてるのかなとか不安にもなったし、このままクライミングをやめてしまうかもともおもう。
- 自由に今まで通り登りたいです。
- 心配な事はジムがまた休業したら家に壁が無いからトレーニングが出来なくなり困ること。
- 地元のジムがなくなるとよいです。
- 都心のジムは混雑している事が多いので、再開しても行く事に躊躇いがあるが、子供の早く登りたい気持ちもわかるので、悩みます。

c) 大会関係のこと

- 3月開催予定だったLJCが開催されないと所属県の国体選考に関わってくるので困る。
- コロナ終息前に大会が開催されてしまうと、クライミングのイメージが悪くなるかと心配です。
- 今後、大会を開催するにあたって、きちんと感染症対策をすることができるのか心配。
- コンペに対する価値観が変わったかもしれない。
- コンペのセッション方式の実施が心配。
- さらに大会の開催が延期されてしまう気がして不安な気持ちがあります。
- ジム内での感染は不安に思うが、大会は無観客の状態で開催して欲しいと思っている。特に国体は延期せずに開催を希望する。
- 大会が中止や延期になり悲しい。
- 大会の開催ができない不安がある。
- とにかくクライミングがしたいです。大会に出たいです。色々なジムに行って沢山のホールドや課題を触りたいです。倉吉ユース出たいです。進路にクライミングは絶対条件なので今年度中には絞って行けるようコロナ落ち着いて欲しいです。
- また、今まで通り大会が開催されるのか、先がわからないことが不安です。
- ユースの大会がどうなるのか不安です。
- 一旦、延期となっている、ユースの大会やその他の国内大会や予選等は、今年度は開催されるのか不安です。また、行われるのであれば

ば、日程を出来る限り早めにアナウンスしてほしいと思います。

- 一番大きいのは最高学年である 6 年生の TNFC がなくなってしまったこと。TNFC ではなくとも、その年のその年齢の最強を決める学年別コンペをやってほしい。
- 延期になっている大会は今後どうなるのか。すでに参加費を支払っているが、その大会そのものが開催されないとなるとどうなるのか。
- 遠征に利用していたジムの閉店などもあり、県を越えての移動もまだ制限があるなら練習環境などを考えると、今年は競技に向けた取り組みは難しい。例え公式大会が開催されても参加できる状況でないので、A 選手登録を取り消したいが、そのような手続きはできるのか。あと、来年の選手登録に向けたアンチドーピング研修は、オンラインで開催してほしい。
- 屋外でのクライミング大会なら実施可能なのか。
- 何らかの疾病もしくは疾病を疑う症状がある方の勇気ある出場辞退をお願いしたいです。
- 感染は心配ですが、全ての大会を中止にしたりせず、工夫して行っていただきたいと思っています。目標なく練習するのは辛いです。
- 競技がいつ再開されるのか、モチベーションが上がらずトレーニングがする気が起きない。このままやめてしまいそうな勢いがある。
- 競技会参加機会の著しい減少。
- この先の大会の予定が無いので、トレーニングを始める時期が分からない。ジャパンツアーがどのようになるのか早い段階で知りたい。
- 大会等が中止（延期）となっている為その為に頑張ってきた目標というかモチベーションをどう保っていけばいいか、不安がありました。今年はこの先大会等行われるのかどうか分かりませんが、いつ開催されてもいいようにしっかりと準備はしておきたいです。
- 公式大会が開催されるのか、国際大会へ繋がる大会が開催されるのか、不安である。また、ジムなどで高齢のクライマーと同時間帯にいる事の感染リスク等が不安である。
- 今後、公式の大会がどのように開催されるかが不安ではあります。
- 今後、大きな大会が沢山ありますが、どうになってしまうのか今全く分からず、不安しかありません。
- 今後、大会の開催について早く情報を流して下さい。
- 今後の試合及び、ジャパンツアーの日程が気になります。
- 今後の大会などがどのように行われるのかが心配です。
- 後はコンペは行われるのか。

- 今後大会がどのような形で開催されるのか不安に思っている。
- 昨年のジャパンツアーに参加から始まり ノースフェイスカップ 倉吉 本戦を決めている大会が無観客であっても開催される事を願ってます。
- 参加を予定していた大会等が延期になり日程も決まらないので、モチベーションを保ち続けられるか不安。
- 試合ができるかどうか不安です、できないのであれば目標を失います。
- 住んでいる地域で制限がちがうから、練習できる環境も違う。全国規模の大会はこういうことで差ができてしまうと思う。
- 小規模でできる大会やオンラインを活用したイベントはJMCSAでもどんどん企画してほしい。
- 全国高校クライミング選手権の開催が心配。
- 早く大会開催してほしいです。
- 大会がいつ再開されるか。
- 大会がほとんど延期、中止になってしまって残念です。今後、いつ開催されるか心配です。
- 大会がやれるかどうか心配です。
- 大会が延期になり、モチベーションを維持する事が難しい。
- 大会が開催されない。マスク着用で登るのはこれからの時期耐えられない。ジムが営業しないと思うように練習できず焦りやら色々。自宅に壁がある人が羨ましい。
- 大会が開催されない不安。
- 大会が開催できるのか？いつから？仕事量が倍増していて練習量は足りるのか？という不安はあります。
- 大会が今後開催されるのか心配。
- 大会が中止になってしまい、目標が定めづらい。
- 大会が無いことによるモチベーションの維持。
- 大会などがいつ再開されるか、いつマスクや人数を気にせずに登る事ができるのか。
- 大会の運営方法の改善を早急に行って、大会の数を減らさないで欲しい。
- 大会の延期や中止などにより目標をどこに向ければいいのか、モチベーションを保てません……ん、、、。

- 大会の延期等が大学入試に影響しないか心配なのと、海外遠征した場合のコロナ対策が不安。
- 大会やコンペがないため目標設定やモチベーションの維持。
- 大会中止となる事が心配です。リスクを無くすことは不可能かもしれませんが、各団体画一的な一定ルールの下、安全な大会開催をお願いします。
- 大会日程が気になります。地域によって練習環境が違うので、ほとんど壁に触っていないので、以前のレベルに戻すのに土のくらいかかるか不安です。
- 大会がなくなり練習機会さえもなくなってしまい、技術レベルの維持以上にモチベーションの維持が難しい。ただでさえ進学を機会に競技から離れる人も多い中で、この様な状況では自分も続けられるか心配。
- 当分の間は大会を開催しないで欲しい。
- 年内の公式戦の有無。練習時間やジムの確保。
- 様々な大会が軒並み中止になることが不安。
- 来年のジャパンカップ出場枠をどうするのか早期に明確にしてほしい。

d) 岩場のこと

- 岩場には行くことが出来るのか。
- 岩はしっかりとしたルール決めがされていないので、他県から来るクライマーに対しての地元の方からの印象が気になる。
- 岩場など外でも自粛になったり、実際コロナになる恐怖より、周りの目のが怖い。
- 自粛期間中、登攀の制限がされたにも関わらず、利用されたエリアが今後、利用するにあたって、以前と変わらずに利用出来るのか。
- 登攀禁止になっている岩場はまた以前のように登ることが出来るのかどうか、延期になった大会などの開催はできるのかどうか不安です。

e) 新型コロナウイルス感染症について

- この状況がいつまで続くのかが心配です。

- 再度、自粛要請があってまた練習出来なくなるかもしれない不安がある。
- ジムでのマスク着用義務が登る際にはかなり辛いように思う。ジムでの3密などによる感染の確率が怖いけど、もっと自由に登れる環境が欲しかった。
- ジム利用時はマスク着用が必須になりそうで心配。マスクしたまま登るのは呼吸が乱れるので、マスクなしでも登れるようになるか不安。
- スポーツジムでのクラスターがあったので、クライミングジムへ行くことに少し後ろめたい気持ちがある。
- ホールドにウイルスがつくのではないかと心配です。
- マスクで練習すると酸欠になり具合が悪くなるという心配がある。
- マスクをした状態のボルダリングが体に良くない。一般のクライミングジムは密室環境が多く、クライミング業界全体として練習環境の悪化が懸念される。
- マスクをしてのクライミングが苦手で、登れるようになった時、久しぶりのクライミングなのにマスクをしたまま登って息ができるか心配。
- マスク着用が義務づけられると、酸欠など登りながら良くなさそうで心配です。
- ロープをコンペ等で共有することが不安。
- 以前の様に、外岩や遠征に行ける日は、いつになるのか先が読めず不安です。
- 感染リスクがあることが不安。今年度のAD講習や、その他の大会に参加できるのか心配。
- 感染者数が減少してきたからといって今までと同じようにジムに登りに行くのは感染リスクもある。マスク着用の義務づけや人数・時間制限などを営業再開したジムは当分の間してもらいたい。
- 宮崎県はジムの自粛期間も短かった為に特に影響はありません。外岩は自粛しています。
- 公共交通機関を使うリスクに対する不安がある。
- 今はただ、以前のように登れる日常が戻って来る事を願うばかりです。
- 今までのレベルに戻るのがどのくらいかかるのか心配です。
- 今まで通りのセッションをしたい。

- 今後も新型コロナウイルスの流行により今回と同様の状況に陥る可能性がある為、場所を選ばないトレーニングを更に取り入れ(海外選手が実施しているものなど)、共有して欲しいと思います。
- 三密を防ぐというと、夏はジムなど冷房をかけなくなり窓を開けると熱中症が心配。
- 山岳連盟に感染対策基準があり、対策を取ったところで、1日も早く壁をのぼりたい。
- 自粛が要請されているエリア等で、一部の方のクライミング行為によりクライミングのイメージダウンやクライミング禁止になる可能性があること。
- 他県の客の利用はできませんとか、自粛要請地域の住民は、外岩も登らせてもらえないのはずるい。
- 大きな声や、多くのチョークを使用する上で感染は心配です。自分の体も心配ですが、周囲に感染させる事もかなり不安です。
- 学校も再開される見通しなので学校の友達、クライミングの友達もです。でも試合がないのは苦しい。でも人の安全が1番ですよ。
- 第2波や3波が来て同じ様に練習できなくなる事が不安です。
- 忠実に外出自粛要請を守り一切壁の中のトレーニングをしなかった者と、何かしらの手段でジムでのトレーニングを続けた者とのパフォーマンス、クライミングとしてのスタミナの差が生じてしまう事への影響は協会としてどの様にお考えになっているのかを示して頂きたい。
- 本当にコロナが終息を迎えるのか？今回の影響でユース選手には影響があるのか。
- 密になることが不安です。

f) 自粛要請に関すること

- 選手登録がある選手、管轄外かもしれないが都道府県の強化指定選手については、今まで通りのジム利用ができるようにJMSCAから働きかけてほしい。
- 県を超えた移動の自粛が今後も続くことが予想されることから、大会への参加や他県との練習環境の差を埋め辛くなること。
- 県を超えた移動を制限するように言われていてなかなか外岩に行けない。長期休暇に海外ツアーに行こうと思っていたが情勢が不安定で海外旅行に行けそうにない。
- 県外に遠征に行けないのが辛い

- 県外に出ることの不安(コロナ感染)、県外に出て今までのように遠征に行けない不安、どちらもあります。
- 県外のジムに遠征をすることが多かったが、今は怖いので遠征は控えている。正直首都圏に行くのは怖い。
- 県外への移動ができないので、県外への試合等に参加しにくい。
- 現在も自粛地域にいる為今後地域で練習に差が出ると、結果にも差が出るのではないかと不安に思う。
- 地域によって登れたり登れなかったりしている間に1年が過ぎて行きそう。大会への練習が確保できるのか。
- 地域によって練習量に差が出ること。
- 練習の格差(親の自粛に対する認識の違いのよる、ジムや岩場での練習量の開き)。
- 練習はジムが中心なのでこの状態での継続が難しい。
- 練習場所がない。遠征もできない。
- 練習場所の確保と過ぎ去った時間。
- 練習場所の確保をしてほしい。
- 県を越えた行動も制約があるため、遠征もままならず、大会やコンペも参加できないでいます。

g) 選手自身に関すること

- 2ヶ月くらい、全く登っていないので、元の身体に戻るのか。それには一体どの位かかるのかが心配。
- これからもクライミングを頑張りたい。
- これまで通りのパフォーマンスを取り戻せるか、また緊急事態宣言の時期や範囲によるジムの営業状態で都道府県単位での練習に遅れることなどが心配です。
- コンペに対応できる体になるか不安です。
- ずっとホールドを触っていないのがすごく不安です。
- ずっと登れていないので、ジムが再開しても、今までの様に登れるか心配。また、人が多い中ではマスクをしなくて、大声で話す人がいたら恐怖感を感じると思う。
- 早く登りたいです。

- ホームジム以外での練習や遠征が出来ないことが不安です。
- リードの練習をしたいです。
- 以前のモチベーションで登れない可能性が高い。
- 以前のように自由に登れない心配がある。
- 遠征の頻度が減り、県外からの利用も制限されているので、身体の震えが停まりません。
- 外岩への転向し、開拓などをしていきたい。
- 休み明けに以前のように動けるのか不安。
- 今まで通り頑張るのみで不安はありません。
- 差が開いてしまうことが不安です。
- 持久力が落ちてそう。
- 心配や不安はたくさんありますが、いける所から少しずつ積み重ねて行けたらいいと思います。
- 生活が戻ってからの登ってた人と登ってない人で差が出そう。どのくらい衰えているのか知るのが怖い。ユースなどの大会の前にジムのコンペなどで感覚を少しずつ取り戻したい。
- 体になまりがないか。
- 登れないのが1番不安です。
- 東京は、かなりの期間クライミングジムも休業となりジムと大変だったと思いますが、選手として目標を持っていた私としてはトレーニングができなかった不安と、目標としていた大会などがなくなってしまった喪失感がある。
- 今後大会が再開された時に、この間に登り続けられる環境下にあった選手達とはかなりの差がついてしまっているだろうという思いもあり、不安が1番大きくなっています。
- 燃え尽き症候群みたいになってしまってます。
- 保持力が著しく落ちた。
- 練習不足でコンペに不安を持ちつつ、以前と同じ気持ちで練習ができるかどうか。
- 練習量が絶対的に減ってしまい、不安を感じています。

h) 仕事のことや経済的なこと

- クライミングだけでは生計を立てられないことがわかった。
- 保護者が無職になり、経済的にこれまでのように練習や遠征が出来るのか不安。
- 家庭の経済的理由による練習サポートが一部困難になる可能性などが不安。
- 勤めている会社が今後も存続していけるのかどうか、経済的に自分と家族が暮らしていけるのかどうかが見通せない。そこが安定しないとクライミングを続けていくことは不可能になる。